

2019 年度 スポーツ活動/文化・芸術・社会活動選抜入学試験問題

(政策学部)

(科目名:小論文)

2018 年 11 月 10 日(土)

| | | | |
|------|--|----|--|
| 受験番号 | | 氏名 | |
|------|--|----|--|

次の課題文章は、内井昭蔵『健康な建築』（彰国社、1885 年）の一部である。この文章を読み、以下の問いに答えなさい。

| |
|-----------------------|
| <p>【引用部分は削除しています】</p> |
|-----------------------|

- 問1. 著者はどのような建築をつくるべきであると考えているのであろうか。100 字以内でまとめなさい。
- 問2. 下線部の建築が「常識的」になるとはどういう意味であらうか。100 字以内で説明しなさい。
- 問3. 「常識」が既成概念と同様な意味でマイナスに使われ、それを否定するような行動をした結果、著者が指摘するように社会にとってマイナスな影響をもたらしうる例を、あなたの考えをもとに 700 字前後で述べなさい。ただし、課題文章で挙げられた「建築」を例として書いてはいけません。

| |
|----|
| 得点 |
| |